

富山第一銀行奨学財団

助成研究報告書

2024

REPORT OF
SUBSIDIZED
RESEARCH

公益財団法人 富山第一銀行奨学財団

富山第一銀行奨学財団

2024

助成研究報告書

REPORT OF
SUBSIDIZED
RESEARCH

公益財団法人 富山第一銀行奨学財団

公益財団法人富山第一銀行奨学財団による富山県内高等教育機関の先生方の学術研究等への助成事業の運営に当り、多くの皆様にご支援を頂いておりますことをまづもって御礼申し上げます。

当財団では、2006年（平成18年）より例年7月上旬に前年度に研究助成を受けられた先生方の研究成果発表会「研究助成セミナー」を開催していましたが、コロナ禍の制約により一時期開催を断念せざるを得なくなり、その代替として2021年7月より「(公財)富山第一銀行奨学財団助成研究報告書」を発刊・公開させて頂くこととしました。

その後はこれを機に=本報告書が研究活動の更なる深化の一助となれば=との思いから、「セミナー」開催の有無に拘わらず発刊・公開させて頂いております。

本誌の編纂にあたり、教育機関の先生方並びに事務局の方々に大変なご尽力を賜りましたことに重ねてお礼申し上げます。

さて、当財団は1959年（昭和34年）に富山相互銀行（現、富山第一銀行）の社長・二代金岡又左衛門氏の死去に伴い御遺族からの弔慰金500万円の寄付と銀行からの500万円の計1,000万円を基本財産として、富山県人で才能と将来性ある学生さん（高校生・大学生対象）へ奨学金の給・貸与を行って、人材育成に資する目的で財団法人富銀育英会が設立されたことからスタートしており、富山県内では最も古い財団の一つであります。

その後、基本財産は主に銀行及び銀行の関連会社、そしてその役職員・OBの方々からの寄付等により充実が図られてきました。一方で、事業目的は奨学金の給・貸与事業に加えて1984年（昭和59年）より主として富山県内の高等教育機関（高等学校・大学）・教育関係諸団体等への設備・研究活動等への助成事業を、2021年（令和3年）には地方創生の観点から、科学技術・学術研究分野での秀れた研究成果を顕彰する「(公財)富山第一銀行奨学財団賞」を創設するなど、事業活動の充実を図ってまいりました。

こうしたことにより、当財団では、育英事業、助成事業、顕彰事業を財団運営の三本柱として鋭意取り組んでいるところであります。

最後になりますが、本誌に掲載されました研究成果が富山県内、更には我が国の産学官の関係者の皆様方及び教育関係者の皆様方で活用され、地域の、更には広く社会の発展に寄与し、また願わくばその成果が「財団賞」（顕彰制度）の受賞にもつながっていくことを期待しております。

以上、引き続き当財団に対しましてご支援賜りますようお願い致しまして、本誌発刊のご挨拶と致します。



(公財)富山第一銀行
奨学財団
理事長 野村 充

当財団設立以来の主な事業の概要

(2024年(令和6年)6月現在)

1. 学生さんへの奨学金の給・貸与事業 (現在は大学・院生のみ)
1959年(昭和34年)～
奨学生累計365名(内訳:大学生223名 短大生29名 高専生5名 高校生108名)
2. 富山県内公・私立高等学校全校に対する設備・教育資機材導入への助成事業
(1984年(昭和59年)～2009年(平成21年))
延べ53校、助成額11,450千円
3. 富山県内教育関係諸団体(公益社団法人富山県教育会、富山県理科教育振興会、富山県家庭科教育振興会への助成事業
1984年(昭和59年)～
延べ118団体、助成額18,230千円
4. 富山県内高等教育機関(富山大学、富山県立大学、富山国際大学、富山短期大学、富山高等専門学校(いずれも統合前を含む)及び高岡法科大学(令和4年度より))の先生方の研究活動への助成事業
1984年(昭和59年)～
延べ1,005研究、助成額511,900千円
5. 顕彰事業
 - (1). 第一回(令和4年度)「(公財)富山第一銀行奨学財団賞」の受賞者の決定と表彰式(2022年7月8日)
特別賞:1名、努力賞:1名(研究テーマ、氏名は省略)
 - (2). 第二回(令和5年度)「(公財)富山第一銀行奨学財団賞」の受賞者の決定と表彰式(2023年7月7日)
特別賞:富山県立大学 准教授 古澤 裕之 氏
研究テーマ「機能性素材による腸内細菌を介した免疫機能の調節と疾患予防」
奨励賞:富山大学 助教 廣島 渚 氏
研究テーマ「宇宙物理学的アプローチによる暗黒物質についての理論研究」
 - (3). 第三回(令和6年度)「(公財)富山第一銀行奨学財団賞」の受賞者の決定と表彰式(2024年7月5日)
特別賞:富山県立大学 准教授 寺島 修 氏
研究テーマ「カーボンニュートラルの実現に貢献する機械システムの環境負荷低減技術の開発」
奨励賞:富山大学 助教 川筋 仁史 氏
研究テーマ「腸内細菌叢を基盤とした薬剤耐性菌定着リスクスクリーニング法の実装と新たな保菌・発症前予防戦略への展開」
努力賞:富山県薬事総合研究開発センター 主任研究員 高山 信幸 氏
研究テーマ「誘導結合プラズマ質量分析計を活用した医薬品中の元素不純物分析法の確立」

以上

発刊に寄せて 2

富山大学

- 高齢者の幸福と認知機能・身体機能促進に寄与する要因の解明
学術研究部 薬学・和漢系 助教 稲田 祐奈 7
- 呉羽山礫層の古地磁気層序
学術研究部 都市デザイン学系 准教授 川崎 一雄 12
- 安全なゲノムの書き換えを実現するDNA結合タンパク質の開発
学術研究部 工学系 准教授 迫野 昌文 21
- 祭りの継承に関わる人びとと組織のあり方に関する人類学的研究
 : 北陸地域の獅子舞を対象として
学術研究部 芸術文化学系 講師 田邊 元 26
- クリックケミストリーを利用した新規人工核酸の開発
学術研究部 薬学・和漢系 准教授 千葉 順哉 36
- COVID-19 感染早期免疫応答の解明と画像診断法の確立
学術研究部 医学系 准教授 長岡 健太郎 40
- メタボリック症候群の予防を目指したヒト腸内細菌の作用機序の解明
学術研究部 医学系 准教授 藤坂 志帆 50
- 睡眠時における記憶痕跡の活動動態
学術研究部 医学系 准教授 宮本 大祐 55
- 機能性の精密制御容易な光応答性化合物の創出
学術研究部 理学系 助教 吉野 惇郎 59
- 農薬曝露による神経発達障害モデルにおけるシナプス・分子病態の解明
学術研究部 医学系 准教授 吉田 知之 64

富山県立大学

- ニュートリノのマヨラナ性の探索
工学部 教養教育センター 准教授 石田 裕之 ……71
- 柔らかい外装をしたロボットによる柔らかいものの自律的把持
工学部 知能ロボット工学科 教授 小柳 健一 ……75
- 富山県中小河川を対象とした洪水予測とデジタルツインでの可視化・避難誘導の試み
工学部 環境・社会基盤工学科 准教授(現教授) 呉 修一 ……79
- 富山県の地下水・水道水中PFAS の分布と汚染源解析
工学部 環境・社会基盤工学科 准教授(現教授) 黒田 啓介 ……87
- 富山県における河川浮遊ゴミの年間流出量把握と河川間比較
工学部 環境・社会基盤工学科 准教授 久加 朋子 ……94
- 水銀パッシブサンプラーを用いた富山県内の大気中水銀濃度の水平分布の把握
工学部 環境・社会基盤工学科 講師 中澤 暦 ……103
- 植物培養細胞における「休眠」二次代謝の覚醒による有用物質生産技術の開発
工学部 生物工学科 教授 野村 泰治 ……109

富山国際大学

- 保育施設における室内外空气中微生物の遺伝子解析
現代社会学部 現代社会学科 教授 高橋 ゆかり ……113
- ある中山間地域の情報を集約するWebサイトを通じた地域活性化の要因の探索
現代社会学部 現代社会学科 准教授 豊岡 理人 ……118
- 富山の地域文化を伝えるための日本語と英語の比較修辞学研究
現代社会学部 現代社会学科 准教授 M. フランク ……123
- ケアマネジメント実践におけるヤングケアラー支援の検討
子ども育成学部 子ども育成学科 教授 相山 馨 ……126
- 文学の読みの授業における「語り」の概念の獲得
子ども育成学部 子ども育成学科 講師 岩崎 直哉 ……134

高岡法科大学

- 海洋空間における非国際的武力紛争と国際法 — 中台武力紛争を想起して —
法学部 教授 吉田 靖之 …………… 145

富山短期大学

- 介護技能実習が職務態度に与える影響 — 個人-組織適合の媒介効果 —
健康福祉学科 准教授 小平 達夫 …………… 155
- 食パンの副材料としてのエゴマの搾りかすの有用性に関する研究
食物栄養学科 講師 角田 香澄 …………… 165

富山高等専門学校

- 後期高齢者に変わる極厳環境下で働く
遠隔操作ロボットの繰り返し負荷耐久特性に関する基礎研究
機械システム工学科 准教授 石黒 農 …………… 173
- ナノ・マイクロ粒子分散液の配列凝固とその材料特性評価
商船学科 准教授 経田 僚昭 …………… 183
- 富山県発祥のスポーツ「ビーチボール」愛好者の特性から
レクリエーションスポーツの普及発展の未来を探る
一般教養科 講師 中村 祐太郎 …………… 189
- 1980年代を中心とした北陸における社会運動文化の形成と展開
一般教養科 助教 加島 正浩 …………… 199
- 表示機への投光方式による人の視覚認知能力の変化に関する検討
一般教養科 准教授 紙谷 智 …………… 206